ボーリング柱状図

調　査　名	国道182号　道路災害防除事業（法面対策）に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	2	5	4	0	0	2

シートNo.　2

ボーリング名	A128B2	調査位置	広島県福山市加茂町外	北緯	34° 37′ 57.8000″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成29年 2月 4日～平成29年 2月 6日	東経	133° 18′ 42.4000″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 440.64m	角度	180° 上 下 0° 90° 30°	方向	77°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	57° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製D-0型	ハンマー落下用具 その他
総掘進長	7.00m		エンジン	ヤンマーNF80型	ポンプ 東邦製BG-3型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	440.38	0.30		表土	白灰																							
1	439.43	1.40		風化粘板岩輝緑岩互層	淡茶緑	D	III	c	γ	2	吹き付けモルタル10cm 岩着しており接合面は比較的新鮮である。 全体的に亀裂が発達している。 石英脈が多数存在し、その周辺では 石英脈が30～40度の角度で貫入しており、その周辺は礫状となる。	21[21](100) 19[19](100)	CL								45			5	180	0	清水/3	2
2 3 4	436.74	4.50		砂岩優勢砂岩輝緑岩互層	暗緑灰	C	II	b	β	1	比較的新鮮で硬質である。 約80度の線状脈が見られる。 線状脈に対して亀裂角20度の亀裂が発達している。 亀裂面は比較的新鮮である。	33[59](100) 28[28](100) 17[17](100)	CM							2/4	45 57	66/泥水	W/D	20 40	240 240	0 0	清水/2 清水/2	2 1
5 6 7	434.58	7.00		粘板岩	黒褐	C	II	b	γ	1	比較的新鮮であるが縦方向の白色脈が見られる。 白色脈沿いに亀裂が発達している。 亀裂面は比較的新鮮である。 GL-5.4～5.6m区間：石英脈 石英脈周辺では褶曲構造が見られ若干の流入粘土有り 掘削水全漏水する。	23[43](100) 43[58](100)	CL							2/6	57 57			40 40	200 240	0 0	清水/3 清水/2	0 1
8 9 10 11 12																												